

平成29年度

第1回加賀市地域公共交通会議

第1回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

議事録

日時 平成29年6月23日（金）  
午後1時30分～午後3時15分  
場所 加賀市役所別館 302会議室

平成 29 年度  
第 1 回加賀市地域公共交通会議  
第 1 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日 時 平成 29 年 6 月 23 日（金）  
午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分  
場 所 加賀市役所別館 302 会議室

1 開会

事務局

それでは、平成 29 年度第 1 回加賀市地域公共交通会議、第 1 回加賀市地域公共交通活性化・再生協議会を開催します。本日は、お忙しい中、本会議へご出席いただき、誠にありがとうございます。

2 委員紹介

事務局

本日の会議は、前任委員が本年 3 月 31 日をもって任期満了を迎えた後、改めて委嘱をした最初の会議です。皆様には、ご多忙にもかかわらず、委員就任をお受けいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。委嘱状については、座席に置かせていただいていますので、よろしくお願ひします。

新しい任期ということもありますので、委員皆様のご紹介をします。

（委員紹介）

続いて事務局の紹介をします。

（事務局紹介）

3 会議成立報告

事務局

まず始めに、会議の成立報告を申し上げます。

本日の会議の出欠状況については、4 名の委員が欠席ではありますが、過半数を超える出席となっていますので、加賀市地域公共交通会議設置要綱第 7 条第 3 項及び加賀市地域公共交通活性化・再生協議会規約第 7 条第 3 項に基づき、本日の会議は成立していることをご報告します。

4 会議設置の趣旨

事務局

さて、この会議の設置につきましては、地域公共交通会議については道路運送法を、地域公共交通活性化・再生協議会については地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を第一の根拠として、会議設置要綱により設けています。会議の役割としては、バス、タクシーなど本市における地域交通の確保、維持の方策等について、地域の関係者が協議し、合意するためのものです。

## 5 会長及び副会長の互選

### 事務局

それでは、会長と副会長の選出に移りたいと思います。

会長・副会長の選出は、交通会議設置要綱第6条及び協議会設置要綱第6条の規定により、委員の互選によることとされています。ご異議がないようでしたら、会長・副会長のそれぞれを事務局から推薦申し上げたいと思いますが、いかがでしょうか。

ご異議の声もないようですので、事務局から推薦申し上げます。

会長に(株)四画面思考研究所 代表取締役の近藤委員を、副会長に加賀市副市長の山下委員を推薦したいと思います。よろしければ拍手をもってご承認をお願いしたいと思います。

それでは、会長を近藤委員に、副会長を山下委員にお願いすることとします。

この後の進行については、近藤会長に議長をお願いしたいと思います。

## 6 議事

### 【現在(H29.4.1)の地域交通体系について】

#### 会長

ご指名ですので会長を務めさせていただきたいと思います。

公共交通の活性化と再生を支援できればと思います。この会議を通じて、活性化や再生とは利害関係者が互いに連携し合い、調和的に進化して行くことではないかと感じています。課題に対して、皆様から先進的な知恵をいただき実証実験を行い、上手く行くものは継続、行かないものは改善をして、そこで出た知恵を市外へ発信することで全国的な事例になればと思います。

それでは、議事に入りたいと思います。新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、現在の加賀市の交通体系について、事務局から説明してください。

#### 事務局

資料1ページをご覧ください。愛称として、加賀市の地域交通体系を「KAGA あんしんネット」と呼んでいます。これは、路線バスやJRを中心とした幹線ネットワークと乗合タクシーを中心とした面的ネットワークの2本柱で市民の足を確保しようとするものです。

まず、幹線ネットワークについてです。生活路線バスとして加賀温泉バスが5路線を運行しています。資料左下の赤枠には4路線について記載しています。1つ目は温泉山中線です。こちらは、加賀温泉駅と山中温泉・栢野(一部)を山代温泉経由で結ぶ路線で、30分に1本程度運行されています。運行頻度が最も高い路線です。2つ目は、山代大聖寺線です。こちらは、山代温泉・山中温泉(一部)と大聖寺を南郷経由で結ぶ路線です。主に高校生の通学対応として運行されています。3つ目は、吉崎線です。こちらは、塩屋と加賀温泉駅を吉崎経由で結ぶ路線です。4つ目は温泉大聖寺線です。こちらは、大聖寺と加賀温泉駅を松が丘経由で結ぶ路線です。また、資料右上の緑枠には、温泉片山津線について記載しています。こちらは、石川病院から一部循環で片山津温泉と加賀温泉駅を結ぶ路線です。この5路線のうち、山代大聖寺線以外の4路線が通院対応として、昨年4月に開院した加賀市医療センターに乗り入れをしています。また、いずれの路線も区間運賃制を取っています。その他の幹線ネットワークとしては、キャンバスがあります。キャンバスについては、左上の紺色の枠に記載しています。観光客を対象とする海まわり線、

山まわり線、小松空港線と地域交通に位置付ける実証運行中の動橋・橋立循環線があります。動橋・橋立循環線は、高校生の通学対応として、加賀温泉駅から動橋、片山津、金明、橋立を經由して大聖寺にある高校へ、朝1便、夕方・夜2便で運行しています。

次に、面的ネットワークについてです。面的ネットワークとして資料右下のピンク色の枠に記載がある乗合タクシーを運行しています。一昨年10月に導入し、加賀第一交通に運行委託をしています。市内を3つのエリアに分けて運行しています。また、加賀市医療センターがある加賀温泉駅周辺を共通エリアとしているため、市内どこからでも加賀温泉駅や加賀市医療センターへ行くことができます。

以上の幹線ネットワークと面的ネットワークを組み合わせた「KAGAあんしんネット」で、市民の移動手段を確保しています。

#### 会長

幹線ネットワークと面的ネットワークで交通体系を構築している自治体は他にありますか？

#### 事務局

幹線と面的とを明確に分けて交通体系を構築している他の自治体は、把握している範囲では見受けられません。市街地がまとまっている自治体が多いため、市街地から放射状に路線バスを運行している事例が多いと思います。加賀市は多核分散都市であるため、路線バスだけではカバーしきれず、幹線ネットワークと面的ネットワークの2本柱で交通体系を構築しています。

【議事（1）平成28年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会 事業報告及び歳入歳出決算について】

【議事（2）平成29年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会 事業計画及び歳入歳出予算について】

#### 会長

続きまして、この協議会における平成28年度の事業報告と決算、平成29年度の事業案と予算案について、まとめて事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

協議会の平成28年度事業報告と決算について説明します。

資料は2ページです。昨年度は4つの事業を展開しました。1つ目は、「路線バスふれあい体験教室」。山中小学校の2年生を対象に、延べ2回実施しました。山中温泉は路線バスが充実している地区なので、小学生のうちから乗り方を身に付けてもらうことで、今後の利用に繋げることを目的として実施しました。2つ目は、「バス停ベンチ整備」。山中温泉バスターミナルのベンチが老朽化していたため、加賀温泉バスと協調してベンチ5基を更新しました。3つ目は、「乗合タクシー利用促進ポスター・チラシ作成」。金沢学院大学メディアデザイン学科教授の指導・協力のもと、乗合タクシーの利用促進ポスター・チラシを作成しました。市内の病院やショッピングセンター等に掲示・配置をし、乗合タクシーの利用促進を図りました。4つ目は、「バス利用促進パンフレットの作成」。広報かがに折り込みをして全戸配布しました。また市内の高校にも配布しました。以上4つの事業を展開し、総事業費1,492,928円を計上しています。

続いて、3ページの歳入歳出決算についてです。歳入については、前年度からの繰越金が342,062円、加賀市と加賀温泉バスからの負担金が787,600円、石川県からの補助金が6

34,000円、預金利子が57円、合計で1,763,719円でした。歳出については、先ほど説明したとおり4つの事業を展開し、事業費が1,492,928円でした。差引残額270,791円は平成29年度に繰り越します。

4～6ページには、実施した事業の記録写真とコメントを掲載しています。

7ページには、決算について加賀市会計管理者より適正なものとして署名をいただいた監査書を掲載しています。

次に、平成29年度事業計画と歳入歳出予算についてです。

まず、8ページの事業計画についてです。1つ目は、「バス教室実施」として、104,000円計上しています。今年度は、地区内にバス路線がある庄小学校での実施を予定しています。乗り方や車内でのマナーを身につけてもらい、将来的な利用に繋がりたいと思います。2つ目は、「公共交通利用促進パンフレット作成」として、1,190,000円計上しています。昨年度と同様に各世帯や高校に配布することで公共交通の利用促進を図りたいと思います。3つ目は、「バス停ベンチ整備」として、810,000円計上しています。加賀温泉バス、キャンバスと協議の上、老朽化したベンチを更新し、路線バスの待合環境を向上させたいと思います。4つ目は、「乗合タクシー利用促進事業」として200,000円計上しています。昨年度に作成したチラシを追加で印刷し、高齢者施設等での説明会で配布をして利用促進を図りたいと思います。合計で2,304,000円計上しています。

続いて、9ページの歳入歳出予算についてです。歳入については、加賀市と加賀温泉バスの負担金として1,179,000円、石川県からの補助金として923,000円、諸収入として預金利子1,000円、前年度からの繰越金として270,000円、計2,373,000円の歳入を予定しています。歳出については、先ほど説明したとおり4つの事業を展開し2,304,000円、予備費として69,000円、計2,373,000円を予定しています。

#### 会長

ありがとうございます。バス教室については、26年度より実施しています。ご質問、ご意見はありますか。

#### 委員

今年度の事業費について昨年度比で800,000円程増えていますが、今年度の負担金と補助金の額は確定額ですか？

#### 事務局

予算額については現時点での想定であり、事業費により増減するので、実際には減額になると思います。

#### 会長

パンフレットやチラシの配布で利用促進を図るとありますが、どのようにその効果を検証していますか？

**事務局**

直接、利用に結びついていない部分もあるかと思いますが、利用率はある程度順調に伸びています。今後どのような利用促進が適切なのか、皆様の知恵をいただきながら検討していきたいと思えます。

**委員**

利用促進パンフレット作成費が昨年度比でほぼ倍増していますが、配布箇所や配布部数を増すのですか？

**事務局**

昨年度までは、乗合タクシーと路線バスのパンフレットを別々に作成し、乗合タクシーのパンフレットについては市の単独事業としていました。別々では分かり難いとの意見がありましたので、今年度より統合したいと考えています。それに伴いページ数が増えるため作成費が増額すると見込んでいます。

**委員**

市全体の話なので利用促進の事業費がどれ程のものなのか想像できませんが、路線バスと乗合タクシーのパンフレットが別々だと分かり難いというのは、あまり理解できないと思えました。

**会長**

路線バスと乗合タクシー両方を利用している人の数や実際の使い方を考慮して、最適なパンフレットを作成して欲しいと思えます。新しい知恵・経験、そしてデータを積み重ねて次年度に活かして行って欲しいと思えます。

それでは、平成28年度の事業報告及び歳入歳出決算、平成29年度の事業計画及び歳入歳出予算については、承認ということよろしいでしょうか？

ご承認ありがとうございます。

**【議事（3） 「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」（案）について】**

**会長**

続いて、議事3「「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」（案）について」です。それでは、事務局より説明をお願いします。

**事務局**

資料は10ページです。議事3「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」（案）について説明します。加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画に基づいて公共交通を運行することで、国の補助対象となります。補助金の交付先はバス事業者です。

資料11ページをご覧ください。計画の名称は、加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画で計画期間は、平成30～32年度です。30年度は29年10月から始まります。

まず、地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性についてです。本市は3つのJR駅が東西に横断しており、生活バス路線が5路線で運行されています。多核分散都市と呼ばれる都市形

成をしており、加賀市医療センター開院に向けて、市内の交通体系を見直し、「KAGA あんしんネット」の構築を進めて来ました。自家用車を運転できない高齢者や高校生を対象として、幹線ネットワークと面的ネットワークの2本柱で加賀温泉駅と各地区を結ぶ移動手段を確保しました。幹線ネットワークとして、平成27年3月に新たに温泉大聖寺線の実証運行や吉崎線の延伸を、同年4月には、キャンパス動橋・橋立循環線の実証運行を始めました。また面的ネットワークとして乗合タクシーの運行も始め、これにより市内いずれの地域においても公共交通による移動が可能となりました。しかし公共交通の利用者は減少しており、これに対応するために地域公共交通確保維持事業を展開して公共交通の維持・確保を図りたいと思います

次に、事業の目標として、昨年度の利用実績を参考に各路線の乗車人数を定めています。温泉山中線19人、山代大聖寺線14人、吉崎線12人、温泉大聖寺線3人、温泉片山津線12人、キャンパス空港線5人、乗合タクシー5人を目標としています。事業の効果については、高齢者や中学・高校生、観光客の移動手段が確保されます。また、地域住民の移動の利便性向上が期待されます。効果的かつ効率的な地域交通体系の実現により、人の流れが活発になり地域活性化に資することも期待されます。また、目標を達成するために、実施主体を本協議会として、バス教室の実施、利用促進パンフレットの作成、バス停ベンチの整備を予定しております。

運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者については、14ページの表1に記載しています。補助対象となっている系統は、加賀温泉バスの4系統、日本海観光バスの1系統で計5系統です。運行予定期間については、平成30～32年度で、平成29年10月1日から平成32年9月30日までの3年間を想定しています。

費用の負担者については、市または事業者で、補助対象事業者は加賀温泉バスと日本海観光バスです。

事業を行う地域の概要については、正式な様式が国から示されていないため、後日改めてお示ししたいと思います。

協議会の開催状況については、本日開催の会議について記載しています。

利用者等の意見の反映状況については、「KAGA あんしんネット」構築の際に多様な意見を頂戴しました。また利用者の意見を反映して路線バスダイヤを調整しました。具体的には錦城中学校の生徒が利用する吉崎線のダイヤを夏季ダイヤと冬季ダイヤに分けて調整しました。また温泉片山津線の増便にも反映しました。さらに、大聖寺実業高校前にキャンパスのバス停を新設しました。また、バス教室の実施、バス停ベンチの設置、利用促進パンフレットの作成等の利用促進策にも反映しています。

メンバーの構成については、委員の皆様の肩書きを記載しています。

#### 会長

フィーダー系統とはどのような意味でしょうか？

#### 事務局

資料15ページをご覧ください。加賀温泉バスが運行する5路線のうち、温泉山中線が地域間幹線として扱われており、県の交通会議で所管されています。地域間幹線とは、平成13年3月31日時点で複数の自治体間を跨ぐ路線を指し、本市では旧加賀市と旧山中町を結んでいる温泉山中線がこれに当たります。この温泉山中線を幹として、これに繋がる枝路線がフィーダー系統

になります。フィーダー系統である5系統は、全てこの温泉山中線に結節しています。

**会長**

ご質問、ご意見などはどうでしょうか。

それでは、国庫補助に伴うフィーダー系統確保維持計画については、これで承認することによるしいですか。

特に異議はないようですので承認することとします。

【議事（4） 地域公共交通の利用状況について】

**会長**

それでは議事4「地域公共交通の利用状況について」です。

皆様の関心がある議事ではないかと思えます。

事務局から説明してください。

**事務局**

資料は16ページです。まず、昨年度の利用状況についてです。加賀温泉バスが運行する5路線については、合計で昨年度比2.5%の減少となっています。路線別では、温泉山中線が7.5%の減少、温泉片山津線が27.1%の増加、吉崎線はほぼ横ばい、山代大聖寺線が8.0%の減少、温泉大聖寺線が26.9%の増加となっています。

昨年4月に加賀市医療センターが開院し、旧加賀市民病院と旧山中温泉医療センターが閉院したため、温泉山中線については、旧山中温泉医療センターへの、山代大聖寺線については、旧加賀市民病院への通院利用がなくなり減少したのではないかと考えられます。山代大聖寺線のみ加賀市医療センターへ乗り入れをしていないので、特に影響を受けたのではないかと思います。温泉片山津線と温泉大聖寺線の増加の要因については、加賀市医療センターへ乗り入れをしているため、その効果が出たのではないかと思います。

次に、キャンパス動橋・橋立循環線についてです。7:10と12:20発便が片山津、金明、橋立から大聖寺に向かう便、17:10発便が大聖寺から橋立、金明、片山津を抜けて動橋、加賀温泉駅へ戻る便です。1便目については、高校生利用が浸透したため、昨年度比108.9%増加しています。2、3便目については昨年度比で若干増加していますが、利用としては低迷しています。

次に、乗合タクシーについてです。エリア①が錦城中学校、橋立中学校校下で、昨年度比123.1%の増加で年間5,324人の利用がありました。エリア②が片山津中学校、東和中学校校下で昨年度比188.5%の増加ですが年間898人の利用に止まっており、他のエリアと比較して、極端に利用が少なくなっています。エリア③が山代中学校、山中中学校校下で、昨年度から約5倍の伸びがあり、年間4,238人の利用がありました。エリア③については、昨年4月から地域で運行していた勅使・東谷口乗合タクシーが市の乗合タクシーに統合されたため、利用が伸びました。合計で10,460人の利用があり、昨年度比3倍弱の伸びでした。

次に、加賀市医療センターにおける乗降者数について、加賀温泉バスの4路線で、1日平均30人弱の降車、17人程の乗車がありました。この差については、受診後に加賀温泉駅前のショッピングセンターへ行き、その後、別の停留所から、または別の移動手段で帰宅するためだと考

えられます。キャンバスについては、1日平均0.3人の降車であり通院手段としては機能していません。乗合タクシーについては1日5人弱の乗降がありました。

次に、乗合タクシーの地区別の利用者数についてです。乗降者数では、大聖寺地区が2,641人と最も多く、次に山中温泉地区で1,346人、次に三谷地区で1,025人となっています。地区によって偏りがありますが、塩屋地区や西谷地区は路線バスの起終点であり、路線バスの利用が定着しているため利用者数が少なくなっていると考えられます。60歳以上人口1人あたりの乗降回数については、東谷地区が2.79回で最も多く、次に東谷口地区で1.47回、次に三谷地区で1.37回になっています。また、勅使地区が0.98回と、勅使や東谷口地区等、乗合タクシーの利用に慣れている地区が利用頻度としては高くなっています。

次に、降車実績が多い施設については、加賀市医療センターが最も多く、次に加賀温泉駅、次にアビオシティ加賀と上位3つは全て加賀温泉駅周辺の施設です。加賀温泉駅を中心に放射状の交通体系を作ることが適切だと考えられます。

次に、利用頻度についてです。月に10往復以上利用する方が3人、5往復以上が11人、4往復以上が8人、3往復以上が13人、2往復以上が35人、1往復程の方も300人程います。

18、19ページは今年4、5月の利用状況を参考に掲載しています。加賀温泉バスについては、前年度比で10%以上減少しています。キャンバス動橋・橋立循環線については、前回交通会議で承認いただいたとおり、今年4月から運行ダイヤを変更しています。具体的には、12:20発便を廃止し、下校時を17:10と18:50発便の2便にしました。これにより、利用が伸びています。耳聞山バス停と大聖寺実業高校前バス停での乗降者数も掲載しています。耳聞山バス停は大聖寺高校の裏にあるバス停です。両バス停での朝便の乗車は、4、5月共に全体の8割を超えており、両月合計で83.1%となっています。また、朝便の乗車場所については、平日と土日祝日に分けてデータを掲載しています。高校生利用が多いので、雪の科学館バス停が最も多くなっています。口コミもあり、湖北地区の高校生が雪の科学館まで自転車で行き、そこからキャンバスを利用するパターンが広まってきています。次に多いのが橋立漁港・田尻バス停、次に篠原バス停と湖北、橋立、金明の高校生の間で、キャンバスを利用した通学が徐々に定着してきています。

次に、乗合タクシーについてです、エリア①については昨年度比で微増、エリア②については利用が低調であると説明しましたが、今年度に入り固定利用者が増えてきました。昨年度比4倍以上の伸びとなっています。利用者数としては、他エリアと比較して少ないですが、確実に利用が増えています。エリア③については、昨年度比30%程の増加となっています。

#### 会長

地域公共交通の利用状況とその分析結果について、報告をしてもらいました。路線バスは減少傾向、キャンバスと乗合タクシーは増加傾向とのことでした。

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはどうでしょうか。

#### 委員

国の補助制度として、フィーダー系統への補助は平成23年度から実施しています。加賀市においては、早い段階から活用していただけていますが、補助対象となる自治体が増えており、また予算の確保も難しくなっているため、補助額が減少しています。そのため要綱・要領のお示し

も遅れています。

幹線となる温泉山中線の利用がされなければ、フィーダー系統の補助も難しくなります。先ほど会長からそれぞれの調和についてお話がありましたが、新しいものや便利なものだけでなく、既存のものについても、もう少し利用促進をしてもらいたいです。温泉山中線は平成28年度で昨年度比7.5%の減少、今年度に入っても11.3%の減少と減少率が高くなっています。利用促進について皆様のお知恵もお借りできればと思います。フィーダー系統についても、今までは補助要件として1便あたり1人以上の利用があるものとしていましたが、今年度より2人以上に変更となりました。温泉大聖寺線の目標が3人となっていますので、危ない系統と思われます。昔からある路線についても停留所やダイヤの見直し等を検討していただければと思います。

#### 会長

ありがとうございます。国の政策状況も踏まえてコメントしていただきました。温泉山中線の利用率向上のための方策があればお願いします。

#### 委員

今年に入ってから、新幹線効果が薄れて加賀温泉駅の観光客も少なくなってきました。観光客だけでなく、住民の方に乗ってもらう必要があります。また、高校生の利用をいかに増やして行くかを市と協議しながら考えて行きたいと思います。

#### 会長

今は転換期であり、非常に重要な時期です。プロジェクトチームを作り、その取り組みをこの会議で報告し、委員の皆様にも協力していただけると良いと思います。重点を定めてそれを集中的に利用促進すると良いと思います。

乗合タクシーの利用が大幅に伸びているようですが、当初の目標は達成していますか？

#### 事務局

加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画では、1便あたり5人と定めています。利用される便とされない便で差はありますが、現時点では1便あたり平均1人程度です。まだまだ余地はあると思いますので、パンフレット配布のみでなく説明会開催等の利用促進策も進めていきたいと思っています。

#### 委員

我々も地区で乗合タクシーを運行していた時は、利用率の向上が常に頭にありました。地区の方が納得するように利用率を上げなければならなく、その場合1日2往復が最適でした。しかし、利用率を下げる便があってもそれにより生活が保たれる人もいます。国レベルでは、利用率だけで良いか悪いかを測るのかもしれませんが、市レベルでは、利用率を下げる便でも、利用があれば維持しないと公共交通としての意味を成さないのではないかと思います。

我々が地区で運行していた時は、年間1,500～1,700人の実績がありました。市の乗合タクシーでは年間1,200～1,300人となっており、これに移行して約2割減となっています。乗継ぎが必要となったため、大聖寺の病院から山代や作見、勅使の病院へ変わった方がかな

りいるので、これについては想定内です。

また、未だに私のところに乗合タクシーの乗り方を尋ねてくる方がいます。市から全世帯にパンフレットを配布していますが、当時は運転をしていたので興味がなくパンフレットを失くしてしまい、運転ができなくなってから尋ねてくるのです。市に電話をするのは抵抗があるようです。問い合わせし易いシステムを考えていただければと思います。

**会長**

利用率だけでなくリピート率も把握するとより良い検証ができるのではないかと思います。

【議事（５） キャンパス動橋・橋立循環線の８月以降の方向性について】

**会長**

それでは議事５「キャンパス動橋・橋立循環線の８月以降の方向性について」です。  
事務局から説明してください。

**事務局**

資料は２０ページです。前回会議では、夜便について、１学期のみ試験運行をして、２学期以降の継続については、利用状況を見極めて協議するとしていました。先ほど４、５月の利用状況を報告しましたが、朝便の利用増加がデータで示されています。また夕便と夜便も一定の利用があります。これを踏まえて２点議事としてお示ししたいと思います。

まず、１日３便の継続です。現在１学期に限り運行している夜便の運行を、利用状況を踏まえて、また大聖寺高校及び大聖寺実業高校の両校長からの強い要請もありますので、今年度を１つの区切りとして８月以降も継続したいと思います。

次に、大聖寺実業高校前での停車時間の確保についてです。大聖寺実業高校前のバス停は周りに建物や屋根等がなくポールのみが立てられています。荒天時は風等も強いと伺っています。これを踏まえて、出発の５分程前にバスが到着することで、待合環境を向上させ利用者の増加を図りたいと思います。

**会長**

１日３便の継続と大聖寺実業高校前での停車時間の確保の２つの提案がありました。  
キャンバスより補足の説明等がありますか？

**委員**

夜便設定の経緯として、県内での事件を受けて保護者より何か対策がないかと相談がありました。当時、下校時は夕方の１便しかなかったため、部活後の便を設定できないかとのことでした。私は、季節により日の長さが異なるため、１年間は利用状況を見るべきだと思っていました。そのため、運行を継続させるために地区や高校に利用を働きかけました。また、停車時間を５分程設けることで、利用者に安全性を感じてもらえると思います。

**会長**

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはどうでしょうか。

それでは、キャンバス動橋・橋立循環線の8月以降の方向性については、これで承認すること  
でよろしいですか。

特に異議はないようですので承認することとします。

#### 【議事（6） その他】

##### 会長

続きまして、その他案件として、事務局よりキャンバス動橋・橋立循環線に関する報告があり  
ます。

説明をお願いします

##### 事務局

キャンバス動橋・橋立循環線について、今後、市とまちづくり加賀で協議していく内容を事前  
に報告します。

議事4でも説明しましたが、4、5月の利用状況を見ると平日と土日祝日では大幅に差があり  
ます。平日が昨年度比で、1日平均9.8人から24.1人に増加したのに対して、土日祝日は4.  
0人から5.4人に止まっています。土日祝日については、基本的に高校生利用がないことを踏ま  
えて、今後データ収集を継続し、運行のあり方を検討したいと思います。

次に、料金体系についても検討を始めたいと思います。実証運行中のため利用促進の観点から、  
料金を非常に低額に抑えています。1回乗車300円、8枚回数券2,000円、1ヶ月定期券3,  
000円としています。定期券については、10回乗車で元が取れる料金設定となっています。  
他の交通機関と比較すると非常に安価です。急激に定期券料金を上げると利用の減少が懸念され  
ますが、利用率と他の交通機関との均衡を考慮して、定期券等の料金改定等について、研究・検  
討を始めたいと思います。

##### 会長

委員の皆さまからのご質問、ご意見などはどうでしょうか。

##### 委員

公共交通にはバス・タクシーがあり、皆様もタクシーを公共交通として認識していると思いま  
す。現在、加賀温泉駅が仮駅舎となり少し前に出ました。バス乗り場は仮駅舎を出てすぐの所に  
ありますが、タクシー乗り場は以前と同じ場所にあり、改札口を出て100メートル程歩かなけ  
ればいけません。また、改札口からタクシー乗り場への導線に何の表示もありません。あつたと  
しても非常に小さいです。降り場についても、仮駅舎を過ぎて降ろすことになっており、利用者  
から仮駅舎で降りたいと言われます。タクシーの乗降場所を手前に持って来て欲しいと思いま  
す。ご検討をお願いします。

##### 事務局

表示については、すぐに対応ができると思います。降車場所については、全体の流れや安全上  
の問題もありますので、所管部へ伝えたいと思います。また、北口に乗り場を作って欲しいと要  
望があり、すでに完成している頃だと思えます。

駅前広場について、ご意見等がありましたらいただけたらと思います。

**会長**

金沢市の場合は、仮駅舎が早い段階で完成していたため移行の問題はあまりなかったようです。富山市の場合は、色々と問題が出ながら解決して行ったようです。加賀市の場合も実際に使いながら仮駅舎ができたので、富山市の例に近いと思います。色々な問題が出てくると思いますので、それを吸い上げて行っていただけたらと思います。

「KAGAあんしんネット」を広めて進化して行くの良いと思いますので、関連テーマがありましたら、皆様、ご提案をお願いします。

他にいかがでしょうか。

では、事務局に進行を戻します。

7 閉会

**事務局**

長時間に渡り、ご審議ありがとうございました。

本日の会議はこれをもって終了いたします。